

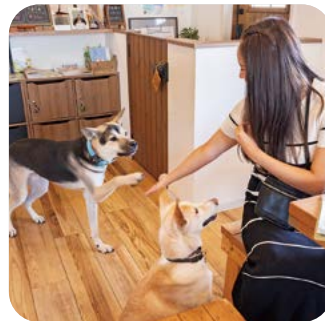
チャレンジいばらき



いばらきチャレンジアワード「支え合い 2025」



学生によるボランティア体験ルポ事業



キドックス



きなののかぞく



花いっぱい運動定着化促進事業

特集

いばらきチャレンジアワード「支え合い2025」

- ▶ 学生によるボランティア体験ルポ事業 ▶ 県民活動推進員の1年
- ▶ 社会活動デビューセミナー & 交流会 ▶ あいさつ声かけ運動 ▶ 花いっぱい運動定着化促進事業
- ▶ 交流サローンいばらき情報 ▶ 新規団体会員の紹介



チャレンジいばらき県民運動理事長賞の授与



大井川知事と共に記念撮影



特別賞の授与（水戸ヤクルト販売株式会社賞）



熱い思いがこもったプレゼン



本番前に運営の最終確認



ゲームを進行する県民活動推進員



休憩中は参加者同士の交流の場



特別賞の授与（株式会社常陽銀行賞）



特別賞の授与（茨城トヨペット株式会社賞）

令和7年11月22日 茨城県立図書館《オンライン同時配信》

特集

いばらきチャレンジアワード「支え合い2025」ファイナリストプレゼンテーション・表彰式

「いばらきチャレンジアワード」は、地域の困りごとに向き合い、社会の新しい力になりたいと考える方々に、独自性の高い社会貢献プランを発表する機会を提供する取り組みです。優れたプランを表彰することで、社会活動へのチャレンジ精神を育み、非営利の社会貢献活動の広がりをめざしています。4回目となる本年は35件の応募から選ばれた7組が公開プレゼンテーションに臨み、最終審査により受賞者が決定しました。

知事賞／理事長賞
受賞団体紹介動画



茨城県知事賞 受賞

認定特定非営利活動法人キドックス

不登校や引きこもりなどの生きづらさを抱える子どもや若者と、捨てられた犬猫の可能性を拓く動物介在活動

私たちが取り組んでいる動物介在活動とは、引きこもりや不登校など生きづらさを抱える子どもや若者の自立支援と、捨てられた犬猫の保護活動を組み合わせたものです。犬の保護活動を中心としたサービスを地域に提供し、散歩やトレーニング、カフェでの接客といった運営を若者たちが担うことで、人と犬が同じ場所でコミュニケーションを取りながら、双方の心身の安定を目指しています。私は現場の声を通して、不登校や引きこもりは若者自身の問題ではなく、「選択肢・機会・希望の乏しさ」という社会側の課題であると感じてきました。若者は、支援される側だけではなく誰かを支援する可能性を持った存在です。彼らが保護犬たちと互いに成長し合うこの動物介在活動のモデルを、茨城から全国へ広げていきたいと思ひます。



上山 琴美さん



公式
ホームページ



チャレンジいばらき県民運動理事長賞 受賞

特定非営利活動法人
きなりのかぞく

しゅっぱつしんこう～いばらき初『ケア旅!!』

皆さんは、日常生活のために人工呼吸器の管理や経管栄養など様々なケアが必要な“医療的ケア児”が、県内に約400人暮らしていることを知っていますか。医療的ケア児は、入園・入学や日々の外出など、日常で多くの制限を抱えています。15年前、私が訪問看護師として関わった一人の男の子との出会いを機に、どんな子どもたちも当たり前に分らしい選択ができることを目指して活動を始めました。旅行も医療的ケア児とその家族にとって困難なものの一つですが、ケア旅を実現することでみんなが諦めていた夢を叶えます。また、医療的ケア児が公共交通機関を利用して多くの人とふれあう機会が増えれば、社会的な理解や支援の輪の拡大にもつながります。ケア旅が医療的ケア児とその家族が楽しく旅するきっかけとなり、そして地域で支え合える「こころのバリアフリー化」を実現していきたいです。



鈴木 宏美さん



公式
ホームページ



奨励賞

ami seed

孤立や困難を抱える女性のための自立支援事業

地域の中で孤立や困難を抱える女性たちに必要な支援が届くよう、同じ境遇を抱える母親たちと活動を始めました。安心できるつながりの中で、軽作業の体験や地域イベントへの出店等、彼女たちが少しずつ収入を得ながら、精神的・経済的に自立していくことが事業の目的です。互いに支え合う関係をつくり、誰も孤立しない地域社会の実現にチャレンジしていきます。



清水 直美さん

奨励賞

NPO 法人ちいきの学校

ドライバーサポートフィットネス

免許返納による移動の制限は高齢者の不安や焦燥をあり、やがて生きがいや健康を奪ってしまうというリスクがあります。本プランは、測定とトレーニングを行った後、自己の状態に合わせて、運転継続か免許返納かを自分自身で判断するという新しい取り組みです。危険なのは、自分の身体認知機能の結果を把握せずには運転を続けることです。私たちは、運転をあきらめない社会を、茨城から発信し続けます。



齋藤 大希さん

会員企業特別賞

茨城トヨペット株式会社賞

子どもの居場所 くじらぐも

「子どもの居場所×だがしや」をコンセプトに、キャンピングカーを活用した茨城県初の「移動式の第三の居場所」づくり

第三の居場所の必要性が高まるなか、そこへ行けない子どもたちがいるならこちらから行こうという発想が活動の原点です。活動に駄菓子屋を取り入れて、ニーズのある場所や孤立している場所へ出向いています。今では、子どもだけでなくママたちや高齢者も集まる多世代交流の場になっており、笑顔でホッとできるような居場所、人と人の関わり・つながりの居場所を目標に、活動を続けていきたいと思っています。



諸澤 久美子さん

水戸ヤクルト販売株式会社賞

のりのり日立笑いクラブ

笑い体操(笑いヨガ)普及拡大とご当地笑い体操の創造・発信

笑いヨガを福祉施設のレクリエーションに取り入れたところ好評だったことをきっかけに、その後クラブを立ち上げ講師としての活動を始めました。シニア世代の地域での孤立化、職場内のストレス、若い世代の無気力化といった様々な社会課題の解決に、地域の独自性を取り入れた体操・笑いヨガは効果的です。これからも、参加した住民が地域アイデンティティを構築できるよう持続的に取り組み、茨城県全域への普及拡大に努めます。



弓野 典子さん

株式会社常陽銀行賞

中学・高校生社会デザイン・ネットワーク「ひとつ空の下で(UNSAM)」

社会デザインの喜びで、十代のAgency(社会により変化を生む力)を導き出すプロジェクト

私たちは、困難を抱える当事者とともに、社会課題の解決やデザインをする団体です。中高生が考えた社会デザインを実現できるよう、社会人コーチが必要な環境と機会を整え、変革を引き出しています。廃棄物をアップサイクルする事業ではポーチを作成し、その売上げは子ども食堂運営や教材購入、スタディーツアーの旅費などに有効活用しています。今後もより良い社会を目指し、様々な課題に取り組んでいきます。



大滝 修さん

学生によるボランティア体験ルポ事業

キャンパスの外で見つけた、私の「サードプレイス」

～「ボランティア」の枠を超えた、学生と地域の新しい関係～

Case ① 「フレンズサポーター」外国人支援活動（筑西市）

フレンズサポーターは、外国にルーツをもつ子どもたちの就学支援を軸に、先生と生徒ではなく、気軽に相談できる友達のような関係を大切に活動しています。学習支援にとどまらず、イベントの企画や日常的な関わりを通して、長い時間をかけて共に助け合い、成長していく関係づくりに取り組んでいます。



「やりたい」を形にできる、チャレンジと成長の場

フレンズサポーター 代表 山本さん × 大学生 大浦さん

■ 「やらされる」のではなく「創り出す」面白さ

大浦：正直、この活動に参加したきっかけは「外国人支援の取組を調べる」という大学の課題でした。「家から近くて行きやすかった」のもこれらの団体を選んだ理由のひとつです（笑）。

山本：まさかそこから、こんなに長く、高頻度で来てくれるようになるとは（笑）。

大浦：そうですね。多趣味で飽きっぽい性格だと自覚があるのですが、ここでの活動は「カチッ」とハマったというか。

山本：お願いしたことだけでなく、習熟度にあった学習プリントを自作したり、外部講演の資料を作ってくれたり。自分から必要なことを率先してやってくれるからいつも助かってる。

大浦：もともと言語や国際交流に関心があったので、趣味の延長線というか。でも、「やってみたい」を受け止めてくれる雰囲気のおかげで続けられているのかもしれません。活動の中で、自分の強みや得意なことも見えてきて、学校だけの生活より、今の方がずっと充実していると感じます。



■ 互いに「なくてはならない」存在

大浦：フレンズサポーターは、日本で生活に困っている外国の方を友人としてサポートする場です。ここでの活動を通して、行政ではなくボランティアだからこそできることがあることを学びました。地域にとって必要な活動だと思います。

山本：こういう風に活動を理解して、発信もしてくれるところなんて、まさに「PR大使」だよな。

それに、いつも「どーん」とかまえてくれるから、子どもたちも家族のように甘えられるんだと思う。この活動になくてはならない存在だと思うてるよ。

大浦：そう言ってもらえてすごく嬉しいです。いつも温かく見守ってくれる山本さんには、本当に感謝しています。ここは、私にとって社会とつながる大



山本代表（左）と大浦さん（右）

きな場所でもあります。これからも、ここで活動を続けていきたいです。

山本：これからも、よろしくね。

「学生によるボランティア体験ルポ事業」

ボランティアなどの社会活動を実践したい学生に対して、希望する内容の活動に参加できるよう、茨城県内のボランティア団体を紹介するとともに、その体験を「ボランティア体験記」にまとめ、活動の魅力や、地域における必要性などを広く発信しています。

「学生によるボランティア体験ルポ事業」令和7年度協力団体一覧

活動地域	団体名
水戸市	CoderDojo Mito
水戸市	NPO法人ひと・まちねっとわーく
水戸市	NPO法人ちいきの学校
水戸市	認定NPO法人セカンドリーグ茨城
水戸市	認定NPO法人水戸こどもの劇場
水戸市	認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ
日立市	NPO法人ふれあい坂下
日立市	NPO法人子ども大学常陸

龍ケ崎市	認定NPO法人NGO未来の子どもネットワーク
北茨城市	NPO法人子ども食堂れん
牛久市	一般社団法人こどものSONORA
つくば市	NPO法人ユアフィールドつくば
つくば市	NPO法人茨城の専攻科を考える会
つくば市	NPO法人“矢中の杜”の守り人
つくば市	つくば子ども支援ネット
ひたちなか市	NPO法人ただいま

授業の単位のため、就活のため、あるいは「なんとなく」……。最初はそんな小さなきっかけで関わり始めたボランティア活動が、いつしか自分らしく過ごせる大切な居場所＝「サードプレイス」に変わっていくことがあります。

今回は、「学生によるボランティア体験ルポ事業」を入りに、NPO 法人や団体と出会い、地域の一員として継続的に関わっている学生たちの様子を紹介します。

Case 2 「NPO法人ただいま」 子ども・若者支援（ひたちなか市）

NPO 法人ただいまは、ひたちなか市の正安寺を拠点に、精神的・経済的・環境的な課題を抱える人々に寄り添い、フリースクールや子どもの居場所づくり、地域食堂などを通して、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。



「ただいま」と言える、日常の延長にある居場所

NPO 法人ただいま 代表 増田さん × 大学生 中塩さん

■ 生活に溶け込むボランティア

中塩：教職を目指しているので、子どもたちとふれあえる活動に参加しようと思ったのがきっかけです。とはいえ、実際に接するのは初めてで、初日はとても緊張しました。

増田：全然そう見えなかったよ（笑）。初日から庭を走り回ったり、水かけバトルをしたり、一瞬で馴染んでいたじゃない。

中塩：体を動かすのは得意なので（笑）。子どもたちの楽しそうな顔が見られるのも嬉しくて、この活動はすごく自分に合っていると感じました。

増田：今は最低でも週1回くらいのペースで来てくれてるよね。

中塩：はい。大学のオンライン授業がある日は、「ただいま」

さんの空き室を使わせていただけるので、学業と活動を無理なく両立できています。食事



NPO 法人ただいまの皆さんと中塩さん（左から2番目）

事も皆さんと一緒にいただけて、県外から一人暮らしで来ている身としては、とてもありがたいですね。海も近くて、帰りに立ち寄れるのも楽しみの一つ。ここで過ごす時間が、私の生活サイクルの一部になっていると感じます。

増田：ボランティアというより、日常的に関わってくれる存在になってくれてこちらにも心強いよ。子どもたちにとっても、信頼できる「お姉さん」がいつもいてくれることが、安心につながっていると感じます。



■ いつでも帰ってこられる場所

中塩：ここでの活動を通して、自分に向いていることや、今後どうしたいかが見えてきて、私の進路に大きな影響がありました。来年度からはその目標に合わせて履修が変わるので、今ほど頻繁には来られなくなるかもしれませんが、ここが自

分にとって安心できる場所でありつづけることには変わりないと思います。

増田：いつでも遠慮しないで「ただいま」って帰ってきてほしいですね。



「ボランティア体験記」公開中！

「学生によるボランティア体験ルポ事業」に参加した学生たちの活動の様子や実際に活動して感じたリアルな声を写真付きで発信しています。

右記の二次元コード、または「学生によるボランティア体験ルポ事業」で検索してアクセスしてください！



鹿嶋市	NPO法人あっとホームたかまつ
鹿嶋市	NPO法人ファーストペンギンネットワーク
守谷市	もりサガ塾
常陸大宮市	西塩子の回り舞台保存会、 西塩子の回り舞台第8回公演運営委員会
筑西市	フレンズサポーター
鉾田市	NPO法人SEA.ing
大洗町	NPO法人ノースマーク

東海村	NPO法人真砂山 FUN クラブ
大子町	NPO法人まちの研究室
阿見町	NPO法人いんどり
全県	一般社団法人まちのこ団
全県（オンライン）	For Everyone Study

県民活動推進員の1年

総勢21名の県民活動推進員がチャレンジいばらき県民運動の各事業を効果的かつ円滑に推進しました。

県民活動推進員とは

各種団体から推薦を受けた学識経験者、有識者、県民運動実践者及び行政に携わる方々で、チャレンジいばらき県民運動理事長が委嘱し、地域課題の解決や地域活性化を目指して、ともに事業を推進しています。



チャレいばらき企画会議



ネットワーク活動推進大会の講演会に参加



IT研修会



花いっぱい運動定着化促進事業認定証交付式の運営

社会活動デビューセミナー&交流会

県内で地域の困りごとの解決やコミュニティづくりなど、社会の新しい力になってみたいと考えている方に向けて開催しました。



第2回

令和7年9月27日土

稼ぐ図書館・稼ぐ公民館から地域変革を始める

商店街の空き店舗を活用した完全民間主導の図書館「みんなの図書館さんかく」、ユース世代を中心とした公民館の再構成「みんなの公民館まる」など様々な経験についてお話ししていただきました。

Guest Talk

一般社団法人トリナス 代表理事
みんなの図書館さんかく
館長 土肥 潤也さん



第3回

令和7年10月25日土

実践的な地域活動の始め方～アワード受賞者プレゼン～

活動のきっかけやいばらきチャレンジアワード「支え合い」茨城県知事賞受賞までの経緯、受賞後の環境の変化、現在の活動状況～今後の展望と貴重なお話を語っていただきました。

Guest Talk

For Everyone Study
代表 植竹 智央さん
特定非営利活動法人ソワンアンドソワ
理事長 中島 沙都美さん



第4回

令和7年12月6日土

社会課題を見つけ問いを立てビジネスを始める

「母乳で子育てをしている間は、女性は外に出かけられない」という常識を変えたい、と授乳服の開発に着手した経緯、また今後への意欲などについて語っていただきました。

Guest Talk

有限会社モーハウス
代表取締役 光畑 由佳さん

あいさつ声かけ運動

「あいさつ・声かけ運動」街頭キャンペーンは、広く県民に「あいさつ・声かけ運動」を周知し、県民自ら「あいさつ・声かけ」を实践するよう呼びかけることを目的に実施しています。

11月の「あいさつ・声かけ運動」「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」強化月間に合わせて、(公社)茨城県青少年育成協会、青少年育成市町村民会議、チャレンジいばらき県民運動の3団体が主催し、各ネットワークの皆さんや県民活動推進員等が県内の駅やプロスポーツ会場のキャンペーンに参加しました。



日立駅



土浦駅



茨城ロボット試合会場



下館駅

令和7年度 花いっぱい運動定着化促進事業



(公財)げんでんふれあい茨城財団との共催により、花づくりをととした地域コミュニティの再生・活性化を図ることを目的に各種団体・学校に対して、花壇づくりの支援を行っています。

学校や地域コミュニティ団体等から53件の応募があり、選考委員会による審査の結果、26団体が令和7年度の認定団体に決定しました。認定された団体には、花いっぱい運動を継続的に進めていくための活動費として、支援金を交付しました。

認定証交付式: 令和7年12月10日(水) 水戸市植物公園



令和7年度
花いっぱい運動定着化 促進事業 認定証交付式

【令和7年度認定団体】

市町村	団体・学校名
水戸市	新一里塚町内会
水戸市	水戸市立内原小学校
土浦市	土浦市三中地区市民委員会
石岡市	城里ロードフラワーの会
結城市	結城市立結城東中学校
龍ケ崎市	紅葉内住宅区 花さかそう会
常陸太田市	源氏川の彼岸花を保存する会
笠間市	旭町西区会
牛久市	かみや緑の里親元気クラブ
つくば市	倉掛「四季の花」通り
つくば市	松栄ロータリークラブ
鹿嶋市	ときめき学級
鹿嶋市	鉢形北区
鹿嶋市	鉢形区
鹿嶋市	平井丘区
鹿嶋市	平井地区まちづくり委員会
鹿嶋市	野の花クラブ
常陸大宮市	常陸大宮市立美和小学校
那珂市	瓜連地区まちづくり委員会
筑西市	健康大学中学級花壇クラブ
筑西市	勤行川の花と緑と鮭を育て守る会
桜川市	桜川市立岩瀬東中学校
つくばみらい市	東地区まちづくりの会
小美玉市	かみよし花道クラブ
茨城町	明光台団地 フラワー会
阿見町	みんなで育てる花の会

交流サルーンいばらきの日常をお届けします!!

交流サルーンいばらきは、NPOやボランティアなどの社会貢献活動を行う団体を支援するため、会議室、印刷機器等の利用ができる多機能オープンスペースです。今回は、そんな交流サルーンいばらきの日常の一コマをお届けします。みなさんも、お気軽にお越しください!

デザインを相談しながら、大判印刷機の使い方を教え合う様子がとても素敵です♪



横断幕作成中!

会議室は貸し切りの個室、フリースペースはBGMが流れる、ゆったりとしたオープンな空間です。



打ち合わせをする皆さん

フリースペースの一角で、ボランティア団体がワークショップを開催!ちょっとした交流会や講習会にも利用できます。



講座・ワークショップ

交流サルーン
いばらき

Tel.029-302-2160 Fax.029-233-0030 HP▶<https://challenge-ibaraki.jp/saloon/> E-mail▶saloon@challenge-ibaraki.jp
[開館時間]平日・土日 9:30~12:00/13:00~17:45 ※12:00~13:00は一時閉館 [休館日]毎週火曜日・祝祭日・年末年始



チャレンジいばらき県民運動

新規加入団体会員のご紹介

新しく団体会員に入会いただいた団体・企業をご紹介します。
(令和7年12月1日現在)

水戸市

茨城県
ニューススポーツ協会



水戸市

EWOKS(株)



ひたちなか市

新熱工業(株)



水戸市

(有)時の広告社



水戸市

(株)山新



東海村

(株)ヒバラ
コーポレーション



チャレンジいばらき県民運動 会員募集中

チャレンジいばらき県民運動では、社会の様々な課題の解決に向け、県民一人ひとりが支え合いの精神をもって主体的にチャレンジすることを支援するとともに、新しい発想のもと、企業や団体、大学、行政などが連携することにより、県民の主体的な県民運動を推進し、「やさしさとふれあいのある茨城」を目指しております。

入会のご案内
及び会員一覧



お問い合わせ

チャレンジいばらき県民運動 広報紙



チャレンジいばらき県民運動

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2階

Tel.029-224-8120 Fax.029-233-0030

ホームページ▶<https://challenge-ibaraki.jp> E-mail▶info@challenge-ibaraki.jp

[発行] チャレンジいばらき県民運動 令和8年2月1日発行
[編集] 県民活動推進員(魅力発見・発信グループ)

